

事業者向け

放課後等デイサービスあんじゅ
自己評価表集計結果

実施期間: R1/11/1~R1/11/30

対象者: 22名

回答者数: 19名

回答率: 86.3%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見、改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	8	6	人数の割にトイレが少ない。
	2	職員の配置数は適切であるか	3	8	8	送迎の時間帯に職員の配置が薄くなってしまうことがある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	10	5	完全バリアフリーではないが、介助がしやすい構造にはなっている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	9	5	毎日活動前などにミーティングを行い、振り返りや個々の目標、その他振り返りを行えるようにしている。 又、月に一度研修を行いその場で意見交換会ができるように開催している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	11	0	年に1度保護者会を行い意見が聞ける場を設けている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	10	1	定期的にアンケート調査を行い、ホームページにて開示している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	15	1	現在は法人内評価をとっており、保護者からの意見を尊重し、運営に反映しているため公的な第三者評価は実施しておりませんが、今後検討予定である。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	13	6	0	毎月一度、社内研修を行い、職員の質の向上につなげています。また、研修内容によっては他団体の外部研修を受講するなどし、職員間で周知ができるように行っている。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	11	8	0	事前に見学をしてもらい、面談をしご本人に必要なニーズを分析した上で職員間で話し合いを行い計画書を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	13	6	0	事業所で標準化されたツールでアセスメントを行い、定期的に聴き取り等を行い更新し、児童の状況を把握している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	10	2	日々、ミーティングや研修を通して意見を出してもらいながらプログラムについて話し合いを行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	11	7	0	週毎にプログラムの内容に変化を付け、集団や個別の療育を行いその中で、季節の節句などを入れることで行事等が身に付けられるようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	13	5	1	平日に関しては室内活動を中心として行い、休日や長期休暇については、室内や課外活動を通して集団活動を主として行っている。事前にスケジュールを立て、子ども達に視覚的にも分かりやすいように支援している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	12	7	0	日々子どもの状況や様子が変わるので、その日その日に合わせて活動を行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	8	2	支援内容は確認できている。 役割分担は対応しながら決まる面もある。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	7	9	支援終了後に、振り返りを行う事で子ども達の様子やプログラムについて反省点を出し合い次につなげられるよう共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	9	2	毎日記録物や書類等を確認し、チェック表を使いチェックを行っている。また、年に数回見直しを行い、支援の検証・改善に努めている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	13	1	基本的には半年に1回評価・モニタリングを行っているが、子どもの状況によっては、必要に応じて評価見直しを行っている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	14	0	自立支援・日常生活の充実のための活動、創作活動、余暇の提供などを組み合わせ支援している。	
関係機関 連携や 保護者との	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	12	0	子どもの様子を把握している、管理者、児童発達支援管理責任者が必ず参加し、その他に精通した職員が加わり会議を行っている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	9	4	策定会議や学校の交流会などに参加し情報を共有している。また、送迎時にも情報交換、共有を行い、緊急時や送迎の変更等がある場合は連絡が取れる体制を整えている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見、改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	15	0	現状、医療的ケアが必要な利用者様はいないが、今後受け入れられるような機会があるようであれば、家族や医師と連携を図り体制を整えていく。 また、協力医医療機関とも連携が図れるようつなげている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	11	3	定期的に、相談支援事業所や児童発達支援センターと連携を図り、スムーズに受け入れができるように情報共有を図っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	14	0	相談支援事業所や、障害福祉サービス等の事業所からの要請に応じて、情報提供するようにしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	12	2	状況や支援の様子、家庭での様子を相談し、必要に応じて助言をいただいている。研修にもできるだけ参加できるようにしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	7	10	直接的な交流機会は少ないが、公園や児童館等に様々な場所にいき、社会との接点を持てるよう心がけている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	14	2	外部研修に参加し、質の向上に努めている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	9	0	事業所での活動の様子など、送迎時や電話等によりこまめに伝え、情報を共有し共通理解のもと支援を提供している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	13	3	保護者の方から、悩みや困りごとがあった際は、必要に応じて時間を作り保護者の方に寄り添いながら助言を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	12	7	0	見学や面談の際や利用を開始する前に、重要事項説明書や契約書の説明を通して左記の内容について詳しく説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	10	0	送迎時、モニタリング時、電話、メール、訪問での相談により、必要な助言と支援を行い、状況に応じて専門職などの紹介も含めて支援をしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	10	3	保護者会や親子参加のイベントを企画し、療育を通して保護者同士が話が出来るよう場を設けている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	8	0	苦情受付担当者・窓口を設置し、苦情があった場合は迅速に対応している。また、記録にも残し今後の改善に努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	9	3	行事の予定等を書面にて交付して情報を発信している。また、HPにて活動の様子を閲覧できるようにしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	18	1	0	個人情報の書類については書庫に保管し、職員に対しても定期的に個人情報に関する研修を行っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	12	7	0	視覚からも分かるように紙に書いたり、パソコンで文書にまとめたりしながら情報伝達を行っています。また、状況に応じて個別に連絡や訪問し意思疎通を図っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	10	7	地域の祭りや、ゴミ拾い等に参加し、大きなイベントでは地域の方に参加を促し、交流を図るよう努めている。また、事前に保護者様に説明・同意を得て、地域のボランティアを受け入れる体制を整えている
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	9	2	保護者に対しては、契約時に左記のマニュアルについては説明を行い理解してもらっている。職員については研修等を用いて周知できるようにしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11	7	1	年2回(4月・10月)避難訓練を通して、動きの確認を行ったり、実際に119番に連絡をし冷静に対応ができるよう通報訓練も行っている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	12	6	1	虐待防止に関する責任者を配置し、職員に対し研修等で周知している。また、児童相談所等とも連携を図り、早期発見、適切な対応が出来るよう努めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	12	1	契約書に明記し、説明を行っているが、身体拘束が必要な児童が現在はいない。身体拘束をやむを得ず行う場合は、左記のように手順を踏み行うこととしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10	9	0	事前にアセスメント、保護者に確認し、家族から医師の指示書に基づく対応を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	10	4	ヒヤリハットについて書面にて報告書に残し、全職員で共有できるようにしている。

事業者向け

放課後等デイサービスあんじゅみなみだい
自己評価表集計結果

実施期間: R1/11/1~R1/11/30

対象者: 11名

回答者数: 11名

回答率: 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見、改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	6		2部屋あるので支援内容によって部屋を使い分けながら支援しています。 また、静、動と用途によっても使い分けています。
	2	職員の配置数は適切であるか	11			利用人数に合わせて配置がされていると思いますが、多く配置できるよう調整を図っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		3	8	急こう配な階段、入り口前の段差など構造的な問題もあるため、環境整備が難しい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	4		社員での話し合いや意見交換が多いため、良い質の向上を図るために今後はパートさんも交えながら情報を共有出来るように計画していきたいと思っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	2	1	アンケートの集計を行えているが、すぐに業務の改善に繋がっているのか不透明な点もあるため、すぐに結果をもとに業務の改善に繋がれるように徹底していくとともに、スタッフ間でも周知を図っていききたいと思っています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	3		HPに療育の様子や様々な行事の内容など多く公開できるように努めている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	8	2	改善を進めるように、ステップを踏みながら努力をしていきたいが、現状として第三者による外部評価の場が無いため、今後の検討材料として話し合っていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	1		単発的で継続性が見られないこともあるため、新しい情報がアウトプットできるように進めたり、増やしていきたい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	1		保護者からの要望やニーズに対して平等に行っているか不明確に感じる点もあるが、その都度スタッフ間で情報を共有し意見交換しながら改善に努めている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	6	1	アセスメントシートを活用しながら随時ご利用者様の変化に対応し、支援に繋がれるように意識しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	2		月ごとに計画し話し合いの元決めていくが、スタッフの意見も反映しながら個々の能力に合わせた内容、都度変化を持たせ計画、実施している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	11			月1ミーティングや日々の業務前の打ち合わせで確認し、スタッフ同士意見を出し合いながら工夫して行っているため、幅広く支援を心掛けている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9	2		時間の過ごし方やスケジュールに沿って支援を行っている。それぞれの日課に合わせた支援を実施しているが、内容等に偏りがないようにその都度見直しを行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	2		週毎のプログラム内容によっても異なるが、集団活動、個別活動を計画しながら実施している。主に集団で行う活動内容が多いように思います。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	11			支援開始前には毎日ミーティングを行い、支援内容、役割分担など全員で確認している。また前日のご利用者様の様子なども含めて共有していくことで、見直しをもった支援を心掛けている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	7	1	送迎後の報告事項や引き継ぎ事項があれば随時報告を管理者に伝えている。 報告が後日になってしまうこともあるため、今後の改善としてノートを活用も含めて密に行っていきたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	4		プランに沿った支援が出来ているかその都度見直しながら確認し実施している。今後も社員だけでなくパートさんにも情報共有を行えるように徹底の強化をしていきたい。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9	2		計画的にモニタリングの実施をしているが、保護者様との情報交換などの場が少ないため、今後の課題として見直ししていくとともに、時間等の調整を密に行っていきたいと思っています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6	5		対人スキル、社会性、集団行動、余暇の充実など、年齢や能力に応じた個々の支援に合わせて行っている。また、個別や集団等の場面によっても支援内容が異なってくるため組み合わせながら行っている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	5	1	管理者、児童発達支援管理責任者を通じて情報交換を行っている。実際には会議などに参画することが難しい現状もあるため、今後の改善として見直ししていきたい。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	10	1		学校によって放課後等デイサービスへの対応の違いがある等難しい。送迎時の引き渡しなど利用者様の情報交換を密に行うよう意識して努めている。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見、改善目標、工夫している点など	
関係機関 や保護者との 連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		5	6	医療的ケアの対象の児童の該当がないため、パートさんなどは不透明に感じる方が多く見られたため、提携している医療機関などの周知を行っていききたいと思います。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		7	4	入学前の未就学園児の見学を除いて関わる機会が少ないため、今後は連携を増やし、情報提供など強化していきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	7	1	同じ法人内で自立訓練事業所の開所が始まるため、今後は情報提供や意見交換などを密に行えるように連携を強化していきたいと思います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	6	2	利用者様のケース状況によって連携していることもあるが、頻度としては少ないように思う部分もあるため、スタッフ全体での認識の低さに繋がっていると思う。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		4	7	児童クラブ等の繋がりに関しては、今後の課題としながらも検討が必要な事案でもあるため、現状としては実施出来ていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	5	5	積極的な参加が出来ていないことや、放課後等デイサービスとの連携強化について見直していきながら地域とのつながりを作っていきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	11			日々のプログラム内容の結果等をもとに送迎時に保護者様に説明している。また、随時電話などでも療育相談や連絡事項を通じて日々の様子や状況を把握することで共通理解を深めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	5	4	事業所からの積極的な働きかけは無いが、今後の課題として見直しながら実施できるような環境整備、人員配置を行っていき保護者支援の充実を図っていききたい。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	11			利用開始する前の契約時に一緒に読み合わせながら説明し、確認を得てから同意の署名を頂いている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	11			主に送迎時や電話対応などすぐに対応できるような体制を整え、随時状況に応じて助言を行っている。また、モニタリングなどの話し合う場でも必要に応じた助言を行えるよう努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	2	1	保護者会の実施をしているが、定期的な頻度の開催や父母会の計画などの立案が出来ていない。行事などを通して全体的な運営も検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	2	2	トラブル発生時にはまず管理者に報告をする体制は出来ている。その上で管理者の指示の元対処している。また、管理者は本部へ報告し、全社員に周知しながら迅速な対応を行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	5	1	会報などの発行や作成は出来ていないが、月ごとの計画や行事など保護者様にご案内するなど徹底して行っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	11			個人情報に繋がる記録物などは書庫に鍵をかけるなど、厳重に保管するとともに、研修を通してスタッフにも取り扱いの強化に努めている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11			視覚的技法を用いたり、意思決定を促せるような場面等においては保護者様からのアセスメントツールを使用しながら本人の気持ちを代弁するような形で汲み取っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		7	4	地域があつての施設だと思うので、何か一緒に参加出来るものが必要だが、現状として障がい児に対しての理解も含めて実施が難しい部分もある。
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	3	1	マニュアルはあるが、個々で周知しているため、再度スタッフ全員の周知、認識を高める為にマニュアルを設置する場の見直しをしていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11			避難訓練は半年に1回実施している。また、訓練内容については法人のHPに掲載しているが、保護者様への情報周知が出来ていない為改善していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	1	1	虐待防止の研修を実施している。日々の業務の見直しや、スキルアップを目指した継続した研修機会が持てるように繋げていきたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	5	1	ご利用前の契約時にご説明して同意をもらううえで署名を頂いている。また、身体拘束を行った場合には、保護者様に経緯や状況説明に努めている。組織的に身体拘束の解釈について共通認識を深めていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	3	2	アレルギーについて職員間で周知されていることもあるが、スタッフへの周知不足や全体的に認識の甘さも見られる為、研修やミーティングを通して認識を深めていけるよう行っていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	3	2	作成しているが、情報共有までいっていないため周知の改善をするのと同時に、研修を行い日々の業務の見直しに活用できるよう努めていく。

事業者向け

放課後等デイサービスあんじゅ そうぶだい
自己評価表集計結果

実施期間: R1/11/01~R1/11/30

対象者: 13名

回答者数: 13名

回答率: 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見、改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	3	1	なるべく物を置かない配置にしている。 定員に対するスペース確保ではなく利用者の特性に合わせた適切な部屋・設備が必要。
	2 職員の配置数は適切であるか	10	2	1	支援度の高い児童にスタッフが一人付いた場合の配置数を考えてほしい。 規則には合っているが経験・スキル不足を勘案すると適切であるか考えさせられる。 送迎時間が重なると一時的に職員数が減ってしまう。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	3	1	常に改善を考えている。 基本的な配慮はなされているが、室内配置によって通路が狭くなってしまう。 感覚過敏がある方の支障となる物理的な対策や配慮をもう少し考えていく必要がある。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8	4	1	重要な連絡等はミーティングを通してお伝えしていき、児童にとってより良い支援法(目標)を話し合っている。それを全員で周知できるよう掲示板のファイルに入れ回覧している。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	3	1	保護者からの意向に単体では答えているが、あんじゅ全体ではまだ改善すべきところがある。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	6	3	HP上にはあるが、見たことがない。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	6	3	第三者委員会はHPなどへ周知されていない。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11	2		会社からの外部研修には参加できていないため自己で研修を受けている。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	3		アセスメントを行い、保護者様の願いを聞き児童の成長に繋げられるようお話ししている。 作成の一部でも良いので関わりを持てることを希望する。 利用者のカンファレンスの記録を見たことがないため課題を分析しているか不明。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	5		分からない。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	4		チームは各自役割を担い目標を達成するが、チームはあまり感じられない。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	4		自分のアイデア不足を感じている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	12	1		長期休みには目標を決め、それを達成できるよう取り組んだ。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	5		集団で過ごすことが難しい日は個別でスタッフが付き対応している。 専門家のスタッフが不足している。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	13			ミーティング時現状の児童の様子で気を付ける点など周知されてとても細かい配慮がなされている。 管理者が指示を出してくれるため確認できている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	5	1	勤務時間短縮の為参加できない日もある。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	3	1	支援記録は行っているが良くわからない。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	5	1	定期的にモニタリングを行い、それに沿った計画書を作成している。 行っているか不明。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	8	5		行っているが、学校との連携は不足気味と感じる。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見、改善目標、工夫している点など
関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	5	1	児童発達支援管理責任者が参加している。 未確認である。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	10	2	1	学校によるが、協力的な学校と保護者様とやり取りしてほしいという学校がある。トラブル発生時などは学校と連携を図り対応している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	8	1	自事業所に該当児がいない。 連絡体制があるのか不明。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	6	1	児童発達支援事業所は就学前に見学に行くことがある。 特徴や支援法など細かな情報をお伝えして頂いた。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	8	1	事例はないが、求められれば事業所の情報をお伝えしていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	7	2	研修機会を増やしていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	8	3	地域の児童館などを活用し交流の場を広げていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	9	1	参加できていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	12	1		面談時・送迎時・電話などにて話し合い、共通認識を持つようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	6	2	社内の他事業所で行う支援方法を参考にしたい。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	3		オリエンテーションは必ず行っている。質問があれば答えている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	2	1	送迎時・面談時でお話を伺っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	5	2	保護者様より機会を増やしてほしいと要望がある。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	3	1	苦情や意見にはすぐに対応するよう心掛けている。 また、児童からの要望も保護者様と話しあいながら聞けるところは聞いている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	4	2	毎月の予定表と共に活動や行事内容を伝えている。
	35	個人情報に十分注意しているか	13			ミーティングや研修等で常に注意を促している。 個人名が載っている書類は持ち帰らず必ずシュレッダーにかける。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11	2		より丁寧な説明やお手紙などにし分かりやすいようお伝えしている。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	9	3	地域の方々との交流を図る機会を作りたい。	
非常時等 の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	12	1		契約時にはきちんとお伝えしている。 10分研修でスタッフに伝えている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	4		年に2回は避難訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	3		会社内研修や10分研修にも盛り込んで行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	5	1	契約時にお伝えし承諾を得ている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9	4		該当児はいないが、アレルギーの有無は必ず確認している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	4		社員間で共有はできている為今後はスタッフさんにも確認して頂く。

事業者向け

放課後等デイサービスあんじゅこぶち
自己評価表集計結果

実施期間: R1/11/1~R1/11/30

対象者: 12名

回答者数: 12名

回答率: 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見、改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	5	4	やや狭いと感じる。 ワンフロアの為活動によっては適切でない。 限られたスペースの中で、机やパーテーションを区切りとして使用している。
	2 職員の配置数は適切であるか	4	7	1	日によりバラつきはあるが適切である。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	5	4	トイレが狭く身体不自由の利用者が使いにくい(介助しにくい)。 玄関やトイレなど段差が気になることもあるが、マットを利用し工夫している。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	8	1	無回答1。 役割分担ができる日とできない日の差がある、一日の振り返りを含めて話し合いがもっと必要。 子どもがいない時間の業務や支援に対する話し合いの機会が少ないように感じる。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	6	0	面談などにより保護者の意見は全てではないが把握できている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	7	0	よく分からないためどちらともいえない。 あんじゅこぶち通信など写真を載せ分かりやすく伝えている。 HPIにも載せている。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	10	0	無回答1。 よく分からないためどちらともいえない。 第三者による外部評価や結果についてあまり話し合われたことがない。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	6	1	外部研修に参加する機会がもっとあると良い。 月1回行われる研修に積極的に参加し、活動内容や日々の問題点など話し合う機会を大切にしていきたい。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	4	0	管理者が面談を行い、保護者や利用者のニーズを聞き出して書類等を作成している。 アセスメントを行い、保護者との関わりを大切に一人一人の支援を行っている。 よく分からないためどちらともいえない。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	6	1	モニタリングを行い、きちんと書類等に反映されている。 子どもと関わる前にアセスメントを活用している、もう一度見直すこともしていきたい。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	4	2	時間に追われることが多く、話し合う時間がもっとほしい。 職員間でプログラム立案のための話し合いがされている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	4	0	固定化しないように計画されている。 やや固定化している。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	4	2	人数や課題に合わせて立案がされている。 話し合う時間と機会が必要。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	5	2	子どもたちの状況に応じて、個別と集団ではどんな支援が可能かももう一度考えていきたい。 子どもの状況に合わせた計画は立てられているが実践しきれていない部分もある。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	4	3	できるだけ行うようにしている。 職員(常勤)が午前中に打ち合わせをして活動/プログラムの流れを話し合った方がよい。 プログラム、支援の内容が個人に委ねられている場合が多々ある。 支援についての役割分担はなかなか出来ていない。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	9	2	気づいたことを伝え合うようにしている。 職員同士の振り返りを子どものいない時間に伝達し合うことがもっと必要だと思う。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	6	1	検証、改善に繋げていくにはそのための時間の設定が必要(日々時間に追われるため)。 日々の振り返りが支援の検証・改善に繋がる話し合う時間と機会が必要。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	6	0	「この活動/プログラムでは～を身に付けてほしい」という話し合いはされている。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3	7	2	ガイドラインに合わせたプログラムが行われている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	意見、改善目標、工夫している点など
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	4	1	相談支援事業所の担当者会議が開かれていない(電話によるモニタリングのみ)。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7	5	0	当日に連絡が来て知るといったことが少なくなった。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	9	0	アセスメントをもとに主治医等確認する機会が必要。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	9	2	リハビリに通院している児童もいる、送迎時等に情報共有できると良い。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	10	0	よく分からないためどちらともいいない。報の伝達はおおむね出来ている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	6	3	助言や研修ができています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	5	7	今後交流する機会がもてると良い。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	6	5	今後参加できると良い。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	6	0	面談や送迎により保護者と伝え合い理解し合う機会がもてている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	7	2	保護者から相談/質問があった際は丁寧に応えている。研修で学んだことを頭に置いて、個々の支援を考え保護者との関わりを大切にしている。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	6	0	保護者から相談/質問があった際は丁寧に応えている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	7	0	保護者から相談/質問があった際は丁寧に応えている。すぐにその場で答えるのではなく、職員全体に周知して対応を考えていきたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	8	2	保護者と面談を行っていて連携することができている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	3	0	苦情があれば重くとらえ職員全体に周知し対応を考えていければよいと思う。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	5	1	定期的ではない。写真等を載せ分かりやすく伝えている。
	35	個人情報に十分注意しているか	8	3	1	職員により個人情報に対する意識に差があるため定期的な研修等で補っている。児童を守る上で大切なことなので緊張感をもっていきたい。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	3	0	事業所での様子を伝え、コミュニケーションを更に「適切に」図るために配慮していきたい。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	5	6	現状はほぼできていない。
非常時 等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	6	2	研修の中で緊急時の連絡方法など話し合いがされたが、振り返りを行ったり保護者へも伝えていくことが必要。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	4	0	避難訓練等行っているが回数を増やしても良いと思う。職員間で話す機会をもっと多くもちたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	6	2	日々の子どもの様子や保護者とのやり取り等気になることは伝達し合い早く対応できると良い。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	9	2	対象児童はいないため、個別支援計画に記載はしていない。現状身体拘束を行うような場面はないが、いざという時のため話し合う機会をもちたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	6	0	必ず周知しておくべき事項である。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	5	3	危険だと感じたこともあるので、事例集をもっと作成してスタッフ間で共有することでより安全に支援が行えると考える。

【あんじゅ グランディール】

児童発達支援・放課後等デイサービス自己評価表【事業者用】

この評価表は、児童発達支援事業所又は放課後等デイサービス事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」のいずれかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」「課題や改善すべき点」等について記入してください。

実施期間：R1/11/1～R1/11/30

対象者： 10名

回答者数： 10名

回答率： 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分から ない	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	1		1	1フロア構造ではあるが、パーテーション等を活用し、仕切る事でスペースを区切っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	8	1		1	常時、7名程の配置がある。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備が適切になされているか	6	3		1	同線の分かり易さを示す為の足跡の図を置いている。バリアフリー。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間が確保できているか	10				時期に合わせて消毒する等清潔な空間を作れるようにしている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	2	1	3	PDCAサイクルを強く認識していることはないが、関りのブラッシュアップを常に行っている。
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	1		5	今回が初回である。
	7	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3			7	従業員間でのHPの共有がなされていなかった。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3		1	6	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10				10分研修のメニューが豊富である。その時々に合わせて研修を実施している。
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	1		1	保護者様からのアセスメントシートを元にヒヤリングを行った上で計画を立てている。
	11	児童発達支援ガイドラインや放課後等デイサービスガイドラインに基づき、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画において子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容を記載しているか	7	1		2	子どもの成長過程において必要な事項を優先するとともに個別の課題とあんじゅの中で出来る事を精査した上で計画を立てている。
	12	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	1		1	主に集団活動を行いながらその中で個別の関りを重視している。
	13	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援が行われているか	8	2			日々のプログラムの中で行われている指導訓練がそのまま計画書に記している内容になるよう落とし込んでいる。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	1		1	日々の活動プログラムは毎月行われるスタッフミーティングの場で話し合わせ、実施に至っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10				大局的に行われるあんじゅ全体の行事に合わせて活動プログラムがなされていることもあり、その時期に応じたプログラムの立案がなされている。また、評価される場もある。
	16	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	2			施設の年齢層や集団の力等を考慮し、長期休暇の課題を設定した。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10				支援前にミーティングや10分研修を行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分らない	工夫している点、課題や改善すべき点
適切な支援の提供 (続き)	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	2	2	1	社員間ではしっかりと行えている。
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	1			訓練日誌は実施時間になるべく近いタイミングで記録を取る事でより生々しい記録としている。経過支援記録に関してはその検証や改善に繋がるよう提供後に記載している。
	20	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	1		1	基本的には6か月に一度のモニタリングとしている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	2		3	モニタリングには協力的に回答している。担当者会議に関しては事業所の方からニーズを出すこともある。
	22	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関との情報共有や連絡調整を適切に行っているか					
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医等や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					
	24	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有が行われているか	8	1		1	送迎時などを主に活用し、課題の抽出を行っている。課題に関して必要があれば、相談支援等を利用し細やかな情報共有に繋げている。
	25	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供が行われているか	6	1	1	2	必要なケースは子ども支援センター等を通じ、他サービスに繋げていけるよう情報提供の機会を作っている。
	26	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	1		3	
	27	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4		3	3	グループ全体の行事を通じ、日常的な活動の開示を行った(展覧会等)。その場で一般の方々との交流も行える機会を演出している。
	28	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	1	2	3	展覧会は一般公開もしている。
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	1			主に契約時や見学時に丁寧に説明する機会がある。
	30	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明を行っているか	8	2			必要に応じて個別面談を実施、計画の説明だけでなく、将来に向けた支援内容の目標の共有等行っている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	2		3	11/4実施。反響有
	32	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	1			連絡帳や送迎時のやり取りを通じて子どもの状況をやりとりしている。主に成長した点や褒められることなどを強調するようにしている。
	33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	2			悩み相談に回答することで、更に相談されることが多い。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分から ない	工夫している点、課題や改善すべき点
保護者への説明責任等 (続き)	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6			4	毎年4月～5月に活動に関する保護者会を開催している。
	35	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	1			苦情になる前の情報として日常レベルで思いを伝えてくれるような関係性を重視している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	1			送迎時には毎回、顔を合わせるようにしている。出来ないところはメールや連絡帳を使用している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	2		1	ホームページ上であんじゅ通信を発行し、保護者のみならず関心のある人が閲覧できるよう配慮している。
	38	個人情報に十分注意しているか	10				職員に関しては念書を取り、十分配慮するよう努めている。
非常時等の対応	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	2	2		定められたマニュアルは勿論、その時々々の緊急時に合わせ最新の情報を研修などで開示できるよう努めている。
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			2	半年に一度の避難訓練をビル合同で行っている。
	41	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10				管理者が虐待防止の責任者として監視するとともに、研修を通じてその罪の重さを伝えている。
	42	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	1		3	
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	1		3	
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	1	3	2	施設内に留まらず、全グループ施設でヒヤリハットを共有している。